
超最強戦闘高校ども！

神田カズマ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

超最強戦闘高校ども！

【Nコード】

N5078P

【作者名】

神田カズマ

【あらすじ】

時代は20xx年法律が消えた波乱国
ごくえんこくは

獄苑轟覇高校の2・3組

斧上 ユウキ（おのかみゆうき）が

獄苑轟覇の頭を倒してしまったために

日本領土全国の高校から目を、

つけられ大事なものを失っていき、

周りにいる、きがはら苦我薔薇 みさ美沙と

きんた琴蛇 こたろう小太郎

の二人も日本最大の戯滅來雄鵜院の頭
たなか みつげね
田中 禪偽禰にもタイムンをはられ
ユウキが全国制覇し絶対王政をつくろうとする物語

1 時間目

「この野郎おおつ、、、」

俺は叫びながら目の前のコンクリートの壁を殴っている。

「もう、やめろつ。」

後ろにいた女が怒り狂う猛獣みたいな俺を、調教するような口調で、怒鳴りつけた。

一人の男が近づいて来た。その男は俺のクラスメートだった男。

「ユウキ、お前が悪いんだ。お前が弱いからだつ。」

俺の肩を撫でながら言ってきた。

「何だとっ！もう一回いつてみ……………」

その男の目には、俺と同じものが流れているのが、微かに見えた。俺は何もいえなくなっていた。俺と同じ思いを、抱えていたからだ。

「もういいよ、いいから。あたし達も皆、アンタと同じ思いなんだよ。」

女の言った言葉が、俺のところに響いた。俺は手を止めた。しゃがみこみながら、訊ねた。

「俺は負けたのか？俺は、、、。」

「ボン」と女が俺の肩に手を置いた。

泣きわめく俺を中間はただ、ただ見ていただけであった。

その日から俺は、友情が消えた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5078p/>

超最強戦闘高校ども！

2010年12月15日04時50分発行